



国内出荷実績は、T
Vなど過去最高が目
立った。省エネ家電
の購入を促進するた
めのエコポイント制
度や地デジ移行時期
が迫っていることが
あり、買い替え、新
規購入を含めた出荷
実績が、前年比10
1.3%と8年連続
プラスで3兆円を超
えた。

情報技術産業協会
の発表によると、民
生用電子機器の09年
12月出荷金額は43
94億円、前年同月
比126%と5カ月
連続でプラスとなっ
た。09年累計では3
兆27億円と、初めて
の3兆円超となった。
特に、増加が顕著
な薄型TVは、12月
単月で、239万6
000台、前年比1
69.3%と好調が
続く。年間累計は、
1362万6000

台(同140.4%)
で、単月、年計共に
過去最高となった。
薄型TVのサイズ
別は、30-36型が78
万5000台(前年
比174.6%)、37
型以上が92万800
0台(同167.5
)と、買い時と見
た一般消費者が一気
に動いた結果が数字
に表れている。
薄型TV以外を分
野別に見ると、好調
なのは、映像機器国
内出荷金額が、35

87億円(前年同月
比130.6%)、7
カ月連続プラス。年
計では2兆1895
億円(同111.1
)で10年連続の前
年比増を記した。単
月、年計共に過去最
高となった。
逆に、減少した種
類は、音声機器で、
国内出荷金額が24.
1億円(同92.7%)
と17カ月連続のマイ
ナスとなった。年計
も1759億円(同
84.5%)と4年連
続で前年割れとなっ
た。DVDレコーダは、
録再機も再生機も前
年の7-8割で、B
Dレコーダ・プレー
ヤは、年計300万
台を超えて、前年比
190%をオーバー
してDVDから次の
ステージに移行して
いることを印象付け
た。

過去最高TV出荷の陰で

発生するのは、不要
となった家電製品
で、いつまでもなく、
家電リサイクル法に
のっとり処理され
る。買い替えが多く
なることは、不要な
家電も増加すること
を意味する。昨年、
ABルート両方の中
間処理工場では、前
代未聞の処理量を扱
った。平均して対前
年5割以上の稼働率
だったが、今年は一
層増えることが予測
される。
不要な電化製品の
中で使用できるもの
は、5割程度といわ
れる。つまり回収し
た中で、半分は動か
ない家電製品が占め
ている。軽4トラッ
クなど「古物商」収
集運搬車両として、
許可や届け出をして
いない回収車両は、
平気で街中でも、不
要家電を不法放置す
るケースが散見して
いる。防ぐ最たる方
法は、不法業者に渡
さないことだ。(※)